東京朝日新聞原稿用紙

平凡（二十七）

二葉亭四迷

又読み返すにかゝってゐるは続きを書けない。

又後悔をする。

生意気は青年の時には誰でも一度は罹る

病気だから、然し家へ切て生半と雑さぬ中

に此病気に罹って了った。